

第3章 計画の基本理念及び基本的な方向

1. 計画の基本理念

長崎県総合計画(チェンジ&チャレンジ2025)基本戦略1-1「若者の県内定着、地域で活躍する人材の育成を図る」の施策8「いつまでも健康で生涯を通じて学び、活躍できる社会の実現」に向けて、健康寿命の延伸を図ります。

基本理念として「全ての県民がいつまでも健康でこころ豊かに活躍できる社会の実現」を目指します。

2. 計画の基本的な方向

上記基本理念のもと、本計画に基づく健康づくり施策にあたり、基本的な方向として、次の4つの事項を掲げます。

(1) 健康寿命の延伸

「全ての県民がいつまでも健康でこころ豊かに活躍できる社会の実現」のため、個人の行動と健康状態の改善や社会環境の質の向上を通じて、長崎県民の健康寿命を延伸します。

(2) 個人の行動と健康状態の改善

県民の健康増進を推進するにあたり、栄養・食生活、身体活動・運動、休養・睡眠、飲酒、喫煙及び歯・口腔の健康に関する生活習慣の改善、生活習慣の改善によるがん、循環器病、糖尿病、COPDをはじめとする生活習慣病の発症予防及び合併症の発症や重症化予防に取り組みます。

(3) 社会環境の質の向上

就学や就労だけでなく、通いの場やボランティア活動への参加など、個人がより社会とつながりをもてる環境整備やこころの健康を守るための環境整備を行うことで、社会とのつながり・こころの健康の維持・増進を図ります。

また、健康に対する無関心層でも自然と健康になれる環境を構築し、幅広い対象に向けた予防・健康づくりを推進します。

(4) ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり

これまでも、様々なライフステージ(乳幼児期、青壮年期、高齢者等の人の生涯における各段階)特有の健康づくりを進めてきました。また、現在の健康状態は、これまでの自らの生活習慣や社会環境等の影響を受ける可能性や次世代の健康にも影響を及ぼす可能性があるため、ライフコース(胎児期から高齢期に至るまでの人の生涯の道筋)に注目したアプローチに取り組みます。

ライフコースは生活環境や地域・職域・学校などにより人生の進み方は多様です。その中で健康日本21(第三次)の「誰一人取り残さない健康づくり」の推進に基づき、今後も、ライフステージ、就労世代、男性・女性といった、それぞれ

に焦点をあてた健康づくりを進めていきますが、これまでも取り組んだ「こども」、「高齢者」に加え、「女性」の健康づくりを重視します。今般、女性の社会進出が進み、女性の勤続年数の伸長、初婚・初産年齢の上昇、生涯出生数の減少、平均寿命の伸長など、女性を取り巻く状況は大きく変化し、女性の働き方は多様になっていることや、生涯においてライフステージごとに女性ホルモンが劇的に変化するという特性及び社会の多様化の影響を受けていること等を踏まえ、人生の各段階における健康課題の解決を図ることが重要とされています。

健康ながさき21（第3次）の方向性

基本理念：全ての県民がいつまでも健康でこころ豊かに活躍できる社会の実現

